



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2005.1

No.249

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



埼玉県における秋のタカの渡り19年

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

●はじめに

埼玉県支部では会員の協力を得、1986年から秋のタカの渡り調査を行なって来た。9月中旬から下旬の休日という限定された調査であるが、渡りを行なう種名とのおおよその数、渡りのピークの天候、渡りの方向などの成果を得られたので報告する。

●調査法概要

調査日の選定

県支部の調査は、リーダーの手配、支部報編集の都合から3ヶ月前に計画する。リーダーの確保から必然的に日程は9月中旬から下旬の連休の日が選ばれる。

観察方法

調査地に朝7時から8時位までに到着する。昼または渡りが見られなくなる14時位まで、タカ類の飛来方向と飛去方向と種名と数を記録する。双眼鏡または望遠鏡で種を確認、コンパスで方向を見、カウンターで数える。

調査地の条件とその変遷

永年続ける調査地の条件は、渡りの両方向（飛来、飛去）の視野を妨げる樹林が無い事である。

調査を開始した1980年代半ば、タカの渡りの調査地（表1）は、北から鐘撞堂山、物見

山、高指山が知られていた。近年、周囲の樹高が高くなり視界が狭くなったため鐘撞堂山は中止、金勝山となり、高指山は天覧山と変更されている。また試行的な調査地も7ヶ所に及び、現在に至っている（表1）。

●調査結果

サシバの渡り

1986年からの各調査地におけるサシバの渡りの数（表2）を見る（P4）。調査日がサシバの渡りのピークに当たると、本県では1ヶ所で100羽から200羽が渡って行く。

サシバ以外のタカの渡り

本県ではタカ科とハヤブサ科の渡りが秋に見られる。ハチクマ属ではハチクマ、トビ属ではトビ、ハイタカ属ではオオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ属ではノスリ、チュウヒ属ではチュウヒがある。ハヤブサ科ではハヤブサ属のハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウが渡る。日本に生息するタカ目29種の内、11種の渡りが見られる。それらの年毎の数を表3に示す（P3）。

渡りのピークの天候

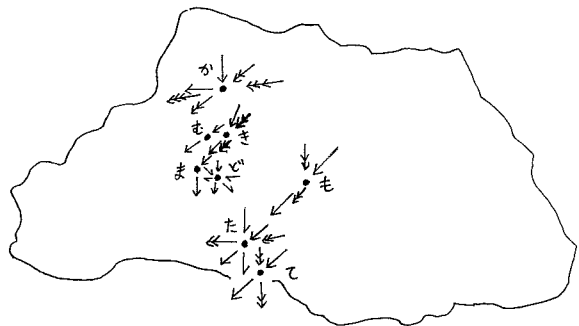
晩夏から初秋、秋雨と呼ばれる停滞前線が日本列島を覆う。9月上旬から下旬、夏の太平洋高気圧ではなく、秋の移動性高気圧が初

表1 調査地

調査地	標高	市町村名	図の記号
鐘撞堂山	330m	寄居町	か
金勝山	264m	小川町	き
世界無名戦士の墓	177m	越生町	む
丸山	960m	横瀬町	ま
堂平山	876m	東秩父村、小川町、都幾川村	ど
物見山	135m	東松山市、鳩山町	も
高指山	330m	日高市	た
天覧山	180m	飯能市	て
金讃神社	210m	神川町	—
白金平	190m	日高市	—
堀之内	175m	所沢市	—
浦和見沼	12m	さいたま市緑区	—

図 主な調査地における飛来方向と飛去方向

(注) 同じタイプの矢印が飛来と飛去を表わす



野鳥の美しさを見て元気の源に

支部長 藤掛 保司

あけまして おめでとう ございます。

「とり年」、響きの良い年、今年初めて見る野鳥は、そして1年間でどんな出会いがあるのでしょうか、皆さんとご一緒に野鳥や、自然観察をして、楽しみたいですね。

県内、県外の探鳥会、そして小中学校の総合的な学習、公民館、地域の方々へのボランティア活動等々への参加、ご指導が、自然保護、環境美化に結びつきます。

年間100回以上の探鳥会、1回平均45名と多くの人達のご参加、関東ブロック内での参加率は、昨年度はトップでした。

会員数は、減少傾向です。埼玉県支部の各部でも、新しい試みを実施致します。どうぞ会員の皆様方、お一人お一人からのご協力で、仲間を増やすように、心掛けて頂ければ幸いです。



日本野鳥の会埼玉県支部は、会員の皆様方のお陰で支えられております。

今年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

めて本州を覆った日が良い。タカ類が渡りの衝動にかられ一勢に繁殖地を離れる。曇または雨の日が、一週間以上続いた後の秋晴れの日がピークとなる。9月上旬から天気図を見ているとこのような日がわかる。

渡りの方向

県西部の八高線沿線にある丘陵地帯から低山地帯に発生する上昇気流がタカの渡りの原動力となる。上昇気流の発生場所が、当日の気圧配置や風の強さにより微妙に変化する。過去19年の調査で8ヶ所の調査地における飛来方向と飛去方向を図に示す。県内ではおおよそ北または北東から飛来し、南から西へ飛去る事が読める。

渡りのルート

(埼玉県野鳥の会研究委員会1987)に、埼玉県における渡りの4ルートが示されている。過去19年の渡りの方向のデータ(図)は、八高線を中心とする幅25kmの範囲を、当日の気圧配置や風の強さにより渡りのルートが移動する事を示している。それ以上の明確なルートは日により異なるため明示できないと考える。

●おわりに

県支部秋のタカの渡り調査は、同一地点における1ヶ月以上の調査(澤井2004)の様な理想的な形態ではなく、9月の休日1日と言う限定された形態である。しかし永年に渡る

表3 サンバ以外のタカ類の渡りの数

年	月/日	ミ サ ゴ	ハ チ ク マ	ト ビ	オ オ タ カ	ツ ミ	ハ イ タ カ	ノ ス リ	チ ユ ウ ビ	ハ ヤ ブ サ	チ ゴ ハ ヤ ブ サ	チ ウ ゲ ン ボ ウ	調 査 地 数
1989	10/1	1	8			4	2	5		4			7
1990	9/23		1		4				1				1
	10/10		1		2	1							2
1991	9/29		3	6	4	3	2	5		3			6
1992	9/27		6	11	3	2	2	3				3	6
1993	9/26	1	3	1	3	1	1	7		1			5
1994	9/25		2	6	3	3	2						3
	10/2												1
1995	10/1		2	5	4	1	1	4		3	1		4
1996	9/28		8		1	1	2						1
	9/29		3		4			3		1	1	1	3
1997	9/27						2			1			1
	9/28	1	6	2	12		3	2					5
1998	10/4		2	1	1			7	1	1	1		4
1999	9/19			1	2	1	1						1
	9/23		7		5	1	1	1					4
	9/26		8	3	10								4
2000	9/23			1	1		1						2
	9/24			1	7	2	1	2					3
	9/25		1	2	6								1
2001	9/22	1	2	7	4		1	5					3
	9/23		1										1
	9/24			2									1
2002	9/21		1		2			1					2
	9/22			1	1								3
2003	9/23	1	9	9	7		8	3					3
2004	9/23			2				1					1
	9/25			1	2	1							1

データの蓄積により、新しい知見も得られるため今後とも会員の協力を得、継続していきたい。
(小荷田行男)

《文献》

埼玉県野鳥の会研究委員会 1987 秋を渡るサンバ
ナチュラルアイ 埼玉県野鳥の会 大宮
澤井清 2004 2004年秋 物見山(東松山市、鳩山町)
タカの渡り観察結果 しらこぼと No.248 日本野
鳥の会埼玉県支部 さいたま

表2 各年の調査日におけるサンバの渡りの数

注：() は各年における最大値とその観察日

年	月日	天候	金讃神社	鐘撞堂山	堂平山	丸山	世界無名 戦士の墓	物見山	白金平	高指山	天覧山	堀の内	浦和見沼	金勝山
1986	10/5	晴	—	6	—	—	—	—	—	52	—	—	—	—
				(9/23 31)										
1987	10/4	快晴	—	4	—	—	—	28	—	149	—	—	—	—
				(9/23 31)										
1988	10/2	曇	—	10	—	—	—	19	0	1	—	—	—	—
				(10/1 150)										
1989	10/1	晴	—	25	—	—	—	100	14	79	150	—	—	—
				(9/23 105)										
1990	10/10	快晴	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
				(9/23 19)										
1991	9/29	晴のち 曇	13	34	—	—	—	29	—	21	151	—	—	—
1992	9/27	快晴	7	21	6	—	—	10	—	—	31	17	—	—
1993	9/26	快晴	—	19	45	—	—	3	—	—	73	0	—	—
1994	9/25	晴のち 曇	—	15	0	—	—	0	—	—	30	—	—	—
								(10/2 122)						
1995	10/1	晴	—	0	0	—	—	57	—	—	89	—	14	—
1996	9/29	晴	—	—	0	—	—	1	—	—	4	—	—	—
					(9/22 5)						(9/28 238)			
1997	9/28	快晴	—	3	9	10	—	1	—	—	30	—	—	—
1998	10/4	晴	—	0	—	3	—	2	—	—	18	—	—	—
1999	9/19	晴	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9/23	曇	—	18	—	1	—	34	—	—	180	—	—	—
	9/26	晴	—	3	—	5	—	3	—	—	21	—	—	—
2000	9/23	雨	—	0	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—
	9/24	曇のち 晴	—	0	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
	9/25	晴	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2001	9/22	快晴	—	—	—	—	—	36	—	—	200	—	—	118
	9/23	快晴	—	—	—	—	—	—	—	—	48	—	—	—
	9/24	快晴	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
2002	9/21	晴	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	3
	9/22	曇	—	—	—	—	—	0	—	—	0	—	—	0
								(9/18 75)						
2003	9/23	晴	—	—	—	—	50	—	—	67	—	—	40	
2004	9/25	曇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	
								(9/28 87)						



野鳥情報

さいたま市浦和区上木崎 5 丁目 ◇10月5日
午前8時20分頃、足立神社の森でイカルの
元気な声を何度も聞く(工藤洋三)。

さいたま市浦和区上木崎 8 丁目 ◇10月25日、
トラツグミ 1羽が自宅の庭で落鳥していた
(松沢八郎)。

さいたま市桜区・西区大久保農耕地 ◇10月
13日、B区でノビタキ 2羽。セイタカアワ
ダチソウの一面黄色の世界にとまるノビタ
キ・・・美しい。10月25日、Aサイド区で
車を運転中、目の前をジョウビタキ♂が横
切る(鈴木紀雄)。◇10月29日午後3時頃、
大久保浄水場のタンクの北側で(Aサイド
区) タゲリ 2羽が、掘り起こされ水が溜ま
った田んぼで採餌。まとめてコサギ10羽、
送電線にチョウゲンボウ♀(増田徹)。

さいたま市桜区秋ヶ瀬 ◇10月13日、ピクニ
ックの森でキビタキ♀ 2羽、アカゲラ♂ 1
羽。10月25日、前日ミゾゴイが出たとの事
で行ってみたが、不明でガッカリ。でも、
子供の森及び北側の林、耕作地でジョウビ
タキ♂ 2羽、キビタキ♀各 1羽、コサメ
ビタキ 1羽、アオアシシギの「チョーチョ
ーチョー」の声(鈴木紀雄)。◇10月31日、
子供の森でキビタキとジョウビタキの声が
同時に聞こえる。クロジ、アオジも飛来し
た。11月7日、ピクニックの森の池にオシ
ドリ♂のエクリプス 1羽。胸脇の縞模様
が出始めていた(海老原美夫)。



ホオアカ(松村禎夫)

さいたま市中央区大戸 ◇10月28日、ジョウ
ビタキ♀(陶山和良)。

さいたま市西区三橋 ◇10月29日午後2時過
ぎ、鴨川のふじ橋でジョウビタキ♂、バン
2羽(増田徹)。

岩槻市岩槻文化公園 ◇10月7日、カケス 3
羽、キビタキ♂ 1羽♀ 2羽、エゾビタキ 1
羽。10月11日、キビタキ♂ 1羽♀ 2羽、エ
ゾビタキ 4羽十、内 1羽は幼鳥。10月14日、
エゾビタキ 5羽十、キビタキ♀ 2羽。さっ
と視界に飛び込んできたちょっと大きめの
鳥、双眼鏡で確認したらツツドリ幼鳥だっ
た。警戒心が成鳥より薄く、じっくり観察
できた。他にシジュウカラの群れとともに
ヤマガラ 2羽。10月16日、アオジの声を初
認するも姿見えず。オオルリ♀ 1羽。上空
をハヤブサが西から東へ飛び去る。元荒川
でヒドリガモ 5羽。10月22日、エゾビタキ
2羽。カケスの声、ウグイスの声、アオジ。
シメ 1羽、上空通過。10月23日、キビタキ
の声、元荒川でマガモ♂ 2羽、ヒドリガモ
約40羽。10月27日、元荒川でカイツブリ 1
羽、カワウ 2羽、ダイサギ 1羽、カルガモ
約50羽、ヒドリガモ約30羽、コガモ10羽、
マガモ 2羽、マガモとカルガモの交雑個体
1羽、イソシギ 2羽、ユリカモメ 3羽。上
空遠方をタカ科不明種 1羽飛翔。対岸葦原
で鳴くジョウビタキ♂ 1羽、ここでは初認。
コジュケイの鳴き声、カワセミ 3羽、モズ、
ウグイス、キビタキ♀ 2羽、シジュウカラ、
ヤマガラ 3羽がエゴの実をつついていて、
メジロが最近目立つようになってきた。ア
オジ、カケス、オナガなど。暗い笹藪で「チ
ッ」と鳴くのでよく見たらクロジ♂だった。
合計33種十不明種 1種。10月28日、林の樹
冠近くでアカハラ 1羽初認。11月8日、カ
ワウ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、コガ
モ、イソシギ、イカルチドリ、カワセミ、
モズ、ジョウビタキ、ウグイス、キビタキ
♀、メジロ、アオジ、カケスなど。アカハ
ラ 1羽、シロハラ約 5羽、シメがムクの木
の実を食べに来ていた(鈴木紀雄)。

岩槻市太田 ◇10月12日、実家の庭にキビタ
キ♂ 1羽(鈴木紀雄)。

岩槻市柏崎 ◇10月24日、柏陽中学校周辺で
ジョウビタキの声（藤原寛治）。

蓮田市黒浜 ◇10月11日、川島橋下流の元荒
川で流され行くウミネコ1羽。下沼東側用
水路脇農道周辺でノビタキ5羽。10月28日、
上沼でオカヨシガモ♂1羽♀2羽。療養所
内でツミ1羽とハイタカとおぼしきタカが
同時に高度を違えて出現。クロジ♀1羽を
至近距離で観察。頭央線、茶色味の強い腰、
白くない外側尾羽。アオジより大きい。11
月8日、上沼でキンクロハジロ5羽、上を
アカゲラ通過（鈴木紀雄）。

蓮田市蓮田 ◇10月17日、キセキレイ2羽、
本シーズン初認。田の用水にやって来まし
た。10月22日、メジロ2羽、本シーズン初
認、台風23号が去って、秋晴れの日、山か
らの便りです（本多己秀）。

越谷市大吉・向畑 ◇11月2日午前10時、古
利根堰（寿橋）から上流300mの区間でヒ
ドリガモ300羽、マガモ15羽、カルガモ15
羽、コガモ5羽、オナガガモ10羽、イカル
チドリ20羽、イソシギ1羽、ユリカモメ3
羽、セグロカモメ1羽、カワウ2羽、アオ
サギ1羽。300m地点より上流、堂面橋ま
での約1.5km区間でカワウ4羽、コサギ
7羽、アオサギ5羽、カルガモ50羽、コガ
モ30羽、ヒドリガモ100羽、オナガガモ4
羽、イカルチドリ3羽、イソシギ10羽、ハ
クセキレイ15羽、セグロセキレイ2羽、ユ
リカモメ1羽。例年通りヒドリガモが多数
飛来しました。残念ながらアメリカヒドリ
は混じっていないようです（植平徹）。

菖蒲町上栢山 ◇10月26日午前9時30分頃、
栢山のイナホ通りの電線でミヤマガラス約
150羽（内藤義雄）。

北本市石戸宿 ◇10月30日、ミヤマホオジロ



イカルチドリ（久保田忠資）

♂1羽。冠羽が広がってとてもきれい。今
年はヤマガラがかなり多く、静かにしてい
るとすぐ傍まで寄ってくる。ジョウビタキ
の♂がモズに追い回されていたが、ジョウ
ビタキの数はまだ少ない。クロジ、ルリビ
タキの情報があるが確認できず。11月3日、
ミソサザイ1羽。この時期は落ち着きがな
く、ゆっくり観察できない。クロジ♂1羽、
アオジとの喧嘩に負けて藪を追い出された。
他にシメ、カシラダカなど（長谷川訓寿）。

鴻巣市笠原 ◇11月9日午前8時40分頃、野
通川にかかる橋付近で約100羽（内藤義雄）。

飯能市南川大蔵山地区 ◇9月18日午後2時
30分頃、伊豆ヶ岳より下山途中、アカショ
ウビン「キョロロロ……」と2回聞く（工
藤洋三）。

狭山市北入曾 ◇11月1日午後12時25分、ハ
クチョウ3羽が南より北方向（川越方面）
に飛ぶ（久保田忠資）。

渡良瀬遊水地 ◇11月5日、トビ約30羽、チ
ュウヒ約3羽、ハイイロチュウヒ♂1羽♀
1羽、オオタカ1羽、チョウゲンボウ2羽、
コチョウゲンボウ5羽十、ノスリ2羽、コ
ミミズク1羽、ベニマシコの声など（鈴木
紀雄）。

表紙の写真

ジョウビタキ（スズメ目ツグミ科ジョウビタキ属）

秋ヶ瀬公園ピクニックの森のいつもの場所に、ジョウビタキの声が響いていました。昨年こ
こに来たのはメスでした。その前の年はオスでしたから、おそらく個体は違うと思うの
ですが、何故かとまる木は、例年ほとんど同じです。

赤い実と一緒に写したいと、頭の中では早々と写真が出来上がったのですが、それを現実に
するまでは、けっこう時間が必要でした。

写真と文：蟹瀬武男（さいたま市）



「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般100円、会員と中学生以下は50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。

解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集合場所までお出てください。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月3日（月・祝）

集合：午前9時30分、さぎ山公園入口

交通：大宮駅東口7番バス乗り場から、大01、大02、大02-2系統で約20分。「さぎ山記念公園」下車。正月ダイヤの問い合わせは、国際興業さいたま東営業所（TEL 048-812-1577）まで。駐車場はありますが、飲酒運転は厳禁です。

担当：海老原、楠見、工藤、福井

見どころ：17年目になりました。今年も酒類食べ物持参でお集まりください。探鳥会が終わった後は、野外の新年懇親会！ 人間アカショウビンが続出します。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月5日（水）

集合：午前10時10分、森林公園南入り口前。

交通：東武東上線森林公園駅から、森林公園南口行き9：54分発バスにて終点下車。

解散：午後1時頃。お弁当をご持参ください。

費用：参加費と別に、入園料400円（子供80円）が必要です。

担当：藤掛、大坂、兼元、堀（敏）、堀（久）、高橋（ふ）、池永、藤澤、高橋（優）、中村（豊）、林

見どころ：山野の鳥ルリビタキ、水辺の鳥オシドリなどを探しましょう。アフターには、暖かな斜面でお弁当を広げながら、今年の鳥見の計画等をお聞かせく

ださい。穏やかな日になりますように。

千葉県船橋市・船橋海浜公園探鳥会

期日：1月9日（日）

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後、京成バス9：40発船橋海浜公園行きにて、終点下車。公園には有料駐車場あり。

担当：杉本、佐久間、菱沼（一）、齋藤、高橋（優）

見どころ：越冬するカモ類、シギ・チドリ類を見ます。スズガモ、ミヤコドリは日本一の数が見られます。

注意：他の支部と開催日が重なりますので、紛れないようにお願いします

久喜市・菖蒲公園昭和池探鳥会

期日：1月9日（日）

集合：午前8時37分、JR宇都宮線白岡駅西口、集合後朝日バス菖蒲仲橋行きにて「除堀（よけぼり）」下車、徒歩約15分。または、午前9時30分久喜菖蒲公園昭和池駐車場。

担当：長嶋、大坂、玉井、内田、長野、松永、伊藤（隆）

見どころ：凜とした空気の中で、湖面に休むカモたちを観察しませんか。千羽以上の中からおなじみの8種に加え、トモエガモ、ミコアイサ、アメリカヒドリ等が見られたらラッキーです。湖面の風が大変冷たいので防寒はしっかりと。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月9日（日）
集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居8：49発に乗車。
担当：中里、後藤、和田、森本、石井（博）、倉崎、高橋（ふ）、藤田、栗原、大澤、飛田、新井（巖）
見どころ：秩父の山々を望みながら土手を明戸の堰まで歩きます。さあ！冬ごもりをしている貴方、飛び出して、清冷な初春の大麻生にお出かけください。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月10日（月・祝）
集合：午前9時10分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。
交通：埼京線武蔵浦和駅2番バス乗り場から下笹目行き8：37発にて、「彩湖道満グリーンパーク入口」下車。交差点まで戻り左折して土手を越える。
担当：倉林、藤掛、百瀬、有馬、新部、赤堀
見どころ：冬晴れの日には富士山がよく見えます。遠く富士山を望みながら、冬鳥を探しましょう。
注意：今までの駐車場は有料になりましたので、北側の浦和駐車場（無料）をご利用ください。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月10日（月・祝）
集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場（今回から現地集合のみです）。
交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス3番乗り場から、彩光苑・春日部エミナス行き8：45発にて「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。
担当：石川、橋口、中村（榮）、吉安、廣川、新井（良）、松永、宮下、吉岡（明）、野村（弘）、野村（修）
見どころ：冬日の里をのんびりと歩きます。落葉した雑木林で、ツグミ、シロハラ、アカハラが勢ぞろい。他にも小鳥たちが出会いを待っているでしょう。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月16日（日）
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口。集合後市立病院行きバスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、森、小菅、赤堀、新部、青木
見どころ：今年こそいい年になりそう。見沼田んぼの新しい魅力を鳥たちと探してみよう。楽しい仲間と過ごしたい方、ぜひ新春の見沼にお出かけください。

長瀬町・長瀬探鳥会

期日：1月16日（日）
集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀬駅前。
交通：秩父鉄道熊谷8：15発、8：41発（急行）、または御花畑8：44発。東武東上線川越7：37→寄居8：27着、秩父鉄道乗り換え。
担当：井上、佐久間、青山、堀（敏）、堀（久）、堀口、喜多、小池（一）、小池（順）、大澤
見どころ：昨年はオシドリを初め43種の鳥たちを見ることができましたが、ヤマセミは残念!! 今年こそ見られますように「パチ・パチ」。
注意：河原を歩きますので足ごしらえと、防寒対策は十分に。

松伏町・緑の丘公園探鳥会

期日：1月16日（日）
集合：午前10時15分、松伏町大川戸緑の丘公園予定地。
交通：東武伊勢崎線せんげん台駅東口から、茨城急行バス大正大学入り口行き9：20、9：45発にて、「新川西」下車。公園予定地のため駐車場はありません。
担当：橋口、田邊、吉岡（明）、榎本（建）、野村（弘）、野村（修）
見どころ：緑の丘公園（仮称）は着工から6年目を迎えました。地元の松伏自然倶楽部が実生から育てたドングリの苗木も育ち、変貌を遂げています。公園の

池を巡りカモ類の当地新顔を探しましょう。近くの古利根川では、シラコバトも待っています。

『しらこばと』袋づめの会

とき：1月22日(土)午後3時～4時ころ
会場：支部事務局108号室

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月23日(日)
集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。
交通：西武新宿線本川越8：43発、所沢8：36発に乗車。
担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、山本(義)、石光、山田(義)
見どころ：昨シーズン記録されたカモ類はマガモ、カルガモ、コガモだけ。今シーズンは、もっと多くのカモが来てくれるといいのですが。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：1月23日(日)
集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。
担当：田中、玉井、中村(榮)、菱沼(一)、吉安、長嶋、長野、松永、榎本(建)、青木
見どころ：厳しい寒さを迎えると、黒浜沼周辺では出現鳥も多種となり、探鳥のベストシーズンになります。沼のカモ、アシ原のオオジュリン、木々にシメ、畑のジョウビタキ等など、冬鳥が待っています。
その他：出発地点は黒浜農村センター南方の、「蓮田太陽の里」北側を予定しています。

長野県・軽井沢探鳥会

期日：1月23日(日)
集合：午前9時30分、しなの鉄道中軽井沢駅前。
交通：長野新幹線「あさま553号」東京7：52発→上野7：58→大宮8：18→熊谷8：32→本庄早稲田8：43→高崎8：52→軽井沢9：14着、しなの鉄道

9：25発に乗り換え、中軽井沢9：30着。

解散：午後2時ころ、現地にて。

担当：町田、堀(敏)、堀(久)

見どころ：長倉神社からスタート。レンジャクを探し、三井の森を經由して野鳥の森周辺を探鳥します。赤い鳥が見られるといいな！積雪を考慮して、足ごしらえと防寒対策はしっかりと。昼食持参は自由、現地にレストランも温泉もあります。



アオジ(編集部)

奥日光探鳥会・素適なショー

荒木充子(久喜市)

今回の埼玉県支部探鳥会は監督、舞台、俳優、観客の四拍子の揃った完璧なショーでした。湯の湖から千手ヶ浜に至る広大な会場で、実質6時間に及ぶ長丁場を、いかなるムダもなく終始楽しませてくれた観察会は、入念な準備と、リーダーの皆さんの卓抜なプランニングによるものだと思います。

また、脚本通りに出演し演じてくれた鳥達。飛翔のサービスまでしてくれた貫禄の王者オジロワシ、1時間もポーズしてくれた全員期待の憧れだったアオシギ、夕暮れの舞台で何度も軽妙なワザを披露してくれたキバシリ、湖畔でゆっくり観察をさせてくれた水鳥達。

舞台も喧噪が去って静寂を取り戻した美しい初冬の戦場ヶ原。天気予報を覆し快晴、無風、何よりも小春日和の暖かかった高原。

参加の会員さんの慎ましやかなふるまい。マナーも上質、他のツアーには決して見られぬ雰囲気の内車内。新参者の私どもにも分けへだてなくレンズを覗かせて下さった。有難うございました。



行事報告

9月23日(木、休) タカの渡り調査

ボランティア：14名

市川芳子、榎本正美、榎本祐子、大勝学、大川陽子、大澤祐、北村隆、栗原直子、後藤康夫、鈴木敬、千鳥康幸、中里裕一、新部泰治、松崎桂治◆小川町の金勝山で調査が行われた。

11月3日(水、休) 羽生市 水郷公園

参加：45名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ トビ オオタカ チョウゲンボウ バン オオバン キジバト ツツドリ カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス セッカ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 今にも降りだしそうな天気の中スタートした。園内はケヤキがきれいに色づいて、秋深しの気配。池に出ると早速オシドリのお出迎え。初めて見るという女性は歓声を上げていた。続いて、杭の上ではカワセミの採餌の様子をじっくりと見る事ができた。林に進むと、まだツツドリが残っていた。ここでじっくりと栄養補給をして南へ帰っていくのだろう。冬の鳥たち、カモ類も一通り見ることができた。天気も回復し、暖かくなり、秋の日の楽しい探鳥会になった。(中里裕一)

11月7日(日) 上尾市 丸山公園

参加：65名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ キジタゲリ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクド

リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 晩秋なのに、暖かい朝である。駐車場の付近で、シメ、キセキレイが出たとの声。メジロの群れを眺めながら公園の中へ。小滝の池で採餌中のヤマガラに歓声。南口の駐車場の紅葉が色づき始めて綺麗だ。冬鳥の到着が遅れているようだ。河川敷ではオオタカのお出まし。畑でカシラダカ、終点でカワセミが出て、それなりに満足。(大坂幸男)

11月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加：33名 天気：曇

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ オカヨシガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ イソシギ キジバト アマツバメ カワセミ ヒバリ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 「冬鳥」を探しに出発。土手に上がるとシメ、モズ、ホオジロが出現し、また、カルガモ数十羽がゴルフ場内を行進。畑や田んぼではチョウゲンボウ、カシラダカ等の歓迎を受けた。また、温暖な気候が原因しているのか、上空にはイワツバメ、アマツバメが飛翔していた。もちろん明戸堰では、目玉のコハクチョウ、カモ数種を観察して終了。(後藤康夫)

11月14日(日) さいたま市 秋ヶ瀬

参加：27名 天気：曇

〈夏緑樹・高木〉アカメガシワ アカメヤナギ エゴノキ エノキ オニグルミ クヌギ ケヤキ シダレヤナギ タチヤナギ トウカエデ ハンノキ ハリエンジュ ミズキ ムクノキ 〈夏緑樹・低木〉カマツカ クサギ ゴマギ ノイバラ ヤマガワ 〈つる〉キツタ チョウセンゴミシ 〈照葉樹〉アオキ シュロ ネズミモチ ヒサカキ 〈草本〉イヌタデ オギ カントウヨメナ キツネノゴマ キンミズヒキ ススキ セイタカ アワダチソウ ダイコンソウ チカラシバ チヂミザサ ヒナタイノコヅチ ヤブラン ヨシ 〈果実〉カラスウリ 〈鳥〉カルガモ スズガモ

オオタカ チョウゲンボウ キジバト コゲラ
 ヒヨドリ モズ ウグイス シジュウカラ カシ
 ラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ム
 クドリ ハシボソガラス ハシブトガラス
 〈虫〉ジョロウグモ ◆支部初めての自然観察会。
 雨が降り出しそうな雲行きの中、27名の参加者
 を得た。秋ヶ瀬は全国的に知られたハンノキ天然林
 のあるところ。水浸しのところには、ヨシが林床
 に生え、水が消えると低木ゴマギが生え、乾いて
 くとクヌギが入り、さらに乾くとハンノキが消
 え、エノキやムクノキ、ケヤキの林となる。目ま
 ぐるしく変わる樹木や林床植物を参加者が確かめ
 ていく。また、森の中には、冬の訪れを感じさせ
 るウグイス、アオジ、カシラダカ、シメが息づい
 ている。とげのあるバラの原種ノイバラ、葉をも
 むとゴマの香りがするゴマギ、紅い萼と青黒い実
 のクサギ、トウカエデ（植栽）のプロペラ付きの
 実、毬の付いたクヌギのどんぐり、色づきつつあ
 るカマツカ、ムクノキの甘い実を皆で味わいな
 がら秋の森を楽しんだ。

(小荷田行男)

11月17日(水) 栃木県 奥日光

参加：37名 天気：快晴

カンムリカイツブリ カワウ マガモ オカヨシ
 ガモ ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ
 スズガモ カワアイサ トビ オジロワシ オオ
 タカ ハヤブサ オオバン アオシギ アカゲラ
 コゲラ セグロセキレイ カワガラス ミソサザ
 イ ジョウビタキ ツグミ エナガ コガラ ヒ
 ガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ
 キバシリ ハシボソガラス ハシブトガラス (31
 種) 晩秋の奥日光は、よく晴れて暖かった。湯
 滝では駐車場脇の流れでアオシギが、千手カ浜で
 は木のとっぺんでオジロワシが、待ち構えていた
 かのように我々一行を出迎えてくれた。最後はキ
 バシリを全員で観察して帰路に就く。充実した探
 鳥を終え、車中で飲む缶ビールがひときわ旨かつ
 た。

(榎本秀和)

11月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：12名

新井浩、江浪功、榎本秀和、海老原教子、尾崎甲
 四郎、佐久間博文、島田貴子、藤掛保司、藤野富
 代、増尾隆、松村禎夫、百瀬修

11月21日(日) さいたま市 三室地区

参加：78名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ
 ギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ
 オオタカ チョウゲンボウ バン オオバン ユ
 リカモメ キジバト コミミズク(初) コゲラ
 ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバ
 リ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ
 ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオ
 ジロ ミヤマホオジロ(初) アオジ カワラヒワ
 スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
 ラス (37種) 雨上がりで朝霧が立ち込め、小春日
 和になった。今年最後の紅葉を味わうことにし
 て、代用水の小道を歩いて行った。雑木林に挟ま
 れた畑でミヤマホオジロが初出現。それから田んぼ
 に出た。オオタカの飛翔を見ていたら、突然コミ
 ミズクが出現。初記録。20年経って出現鳥は115
 種になり、楽しい秋の探鳥会になった。(楠見邦博)

11月21日(日) 富士見市 柳瀬川

参加：59名 天気：晴

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ
 コガモ ヒドリガモ オナガガモ キジ イカル
 チドリ イソシギ タシギ ユリカモメ セグロ
 カモメ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレ
 イ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ
 ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジ
 ユウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオ
 ジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシ
 ボソガラス ハシブトガラス (36種) 期待したタ
 ゲリには今回も振られたが、カワセミ、キジ、シ
 メヤイカルチドリの後に、タシギの日光浴を見
 て満足。

(高草木泰行)



いざ戸隠飯綱高原へ!



●【しらこぼと】表紙をカラーに

いかがですか、印象は？ 少しでも魅力的な支部報になるよう、今月号から、思い切って表紙をカラー印刷にしました。

自慢の写真を投稿したいが白黒印刷では、とためらっていた方、投稿をお待ちしています。

新しくなった「しらこぼと」、どうかよろしく。

●支部の入会案内リーフレット作成

入会案内パンフレットは本部作成のものをそのまま使っていましたが、全国を対象にしたものなので、「では埼玉県支部の場合はどうなのか」という点が、少し分りにくいようです。

そこで、「埼玉県支部の場合は」を説明するリーフレットを作成し、パンフレットに挟み込んで使用することにしました。

近日中にできる予定です。

●関東ブロック協議会に参加

11月13日(土)-14日(日)栃木県塩谷郡塩谷町で開催された関東ブロック協議会に、藤掛支部長、海老原副支部長、大坂幹事、楠見監事、橋口普及部長が参加。本部からは柳生会長、中村専務理事、原元総務室長。他支部の代表も含めて合計45名集まりました。議題は会員増対策、他支部との連携事業、支部のNPO化、珍鳥情報の取り扱いなど。泊り込みで熱心な討議が続きました。

関東地区の9支部が交代で担当する会議です。今年は栃木県支部が担当、埼玉県支部は2年後に担当する順番です。

●普及活動

10月20日(水)、高草木泰行、大坂幸男、藤澤洋子の3名が講師をつとめる川越市川鶴公民

館主催「かわつるセミナー・野鳥と環境」が開催され、探鳥会の予定が台風23号のために、会議室での室内講義になりました。

午前9時30分開始。雨にもかかわらず16名が集まり、ビデオによるバードウォッチング入門、近辺で見られる鳥達の紙芝居による解説など、12時30分まで続けました。

●事務局の予定

- 1月8日(土) 編集会議、普及部会議。
- 1月15日(土) 2月号校正(午後4時から)。
- 1月16日(日) 役員会。
- 1月22日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

●会員数は

12月3日現在2,386人です。(本部のコンピューターシステムが変更された関係で、今月の会員数集計は3日付になりました)

活動報告

- 11月12日(金) 12月号校正(海老原美夫)。
- 11月12日(土) 関東ブロック会議に向かう車中でも(藤掛保司、大坂幸男)
- 11月19日(金) 本部常務会(海老原美夫)。
- 11月21日(日) 役員会(司会:長嶋宏之、各部の報告・支部報のカラー化・リーフレット作成・その他)。
- 11月22日(月) 12月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

カラー印刷に踏み切りましたが、我々素人のボランティア編集部員たちの編集技術が追いつくかどうか心配しています。それでも、裏表紙にも写真を載せるようにして、連絡帳欄は11ページに移動したらどうだろうとか、いろいろ考えてはいます。まあ、ほちほちいきますか。年12回、20年間も発行し続けているのですから、なんとかなるでしょう。多分。(海)

しらこぼと 2005年1月号(第249号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社